

社会教育委員の会議 会議概要

1	審議会名	令和6年度第2回安曇野市社会教育委員の会議
2	日時	令和7年3月12日(水) 午後1時30分から3時まで
3	会場	安曇野市役所 本庁舎大会議室
4	出席者	猿田委員(議長)、丸山委員(副議長)、坂内委員、望月委員、赤羽委員、土松委員、筒井委員、 柿本委員、池田委員、伊藤委員、佐々木委員、 三澤委員
5	市側出席者	生涯学習課二木課長、文化課三澤課長、 生涯学習課大蔵係長・本郷係長・小穴(広)係長・臼井係長 ・小穴(哲)係長・遠藤係長、文化課竹中補佐・奈良澤補佐・ 佐野係長・堀係長・逸見係長・子ども支援課古畑補佐
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和7年3月31日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課二木課長
- 2 あいさつ 猿田議長
- 3 令和7年度事業計画について《事務局説明》

【委員】

生涯学習推進事業の日本語教室について、予算が386千円アップしていたが、概要を見ると同じなので、何か重点にしているものがあるのか。

もう一点は日本語ボランティアきっかけ講座を開催したことによってボランティアとして活動する人が増えているのか。

【事務局】

オンライン日本語教室が今までは長野県モデル事業として補助があったものが、7年度から市の単独事業として行いうため増額となった。

きっかけ講座には今年度延べ18人の参加があり、3人が地域の日本語教室への協力を表明された。

【委員】

文化芸術普及事業について、新聞に文化芸術の充実について掲載されていたが、今後新しく制度化するものや現在どのようなことを行っているのか。また、文化芸術に触れるだけでなくそれよりも深いところに意義があると思うが。

【事務局】

教育部としては教育のグランドデザインに掲載するよう検討していく。文化芸術については学校と連携して行う事業(東京芸術大学交流事業、能楽教室、学校ミュージアム等)をメニュー化して掲載していくことを検討している。

【委員】

学校ミュージアムについては、6年度は2か月間、7年度は3か月に間増えたが、安曇野市全体で取り組む場合、全学校で芸術教育普及事業(を行うのか)。

【事務局】

その通り。各事業については3か月間通しでおこなうのではなく、3か月のうち数日間のペースで行う。

【委員】

穂高鐘の鳴る丘集会所管理運営について、芸術系大学との連携の無い期間に集会所を宿泊施設として貸し出すことは可能か。

また、毎年文化財等が多く出土していると思うがその保管場所は足りているのか。

**【事務局】**

現時点では市の事業で使用することを想定しているが、学校事業でも使用可能としている。市民の方に貸し出すことについては様子を見ながら検討していきたい。

文化財の保管については、現在博物館また文化財資料センターの収蔵庫ともに手狭になってきている。これを解決するためにも新市立博物館の活用を検討している。

**【委員】**

企業人権教育推進協議会の予算額について、6年度は2千円となり昨年よりも減少しているのはどのような意図があるのか。

**【事務局】**

企業人権教育推進協議会としての予算が別に存在し、今年度事業にかかる市の負担が2千円となるもの。

**【委員】**

人権教育推進事業については人権共生課と連携して事業を実施してもらいたい。

**【事務局】**

人権共生課とは一層連携していきたい。

**【委員】**

令和7年度の重点に「こどもの人権」「部落差別」を掲げているが、こどもの人権といっても幅が広いためどのような方向性で進めていくのか。

**【事務局】**

引き続き重点的に取り組まなければならないと考え、取組内容については昨年度と同様とした。

**【委員】**

各地区公民館で行っている人権教育に参加したが、内容はとても良かったが参加者がとても少なかった。子どもの人権について今一度大人たちが考えていくべきではないかと考える。

**【事務局】**

小中学生には学校での人権教育、企業対象としても人権教育を行っている。人権共生課と連携して取組を進めていきたい。

**【委員】**

様々な行事等が企画されていると思うが、役員だけでも出席することに意義があると思う。

**【委員】**

1つ目に人権教育集会所について、跡地をどのように活用するのか。

2つ目に、地区公民館建設事業補助金の交付要綱改正検討とあるが、どのように改正するのか。

3つ目に、豊科図書館開館15周年記念講演会とあるが、今後各図書館が15周年を迎える度に記念講演を実施するのか。

4つ目に、スポーツ教室開催事業について昨年度と比較して項目が減っているが、これは人員が不足しているからではないか。人員を増やし事業を充実させた方が良いのではないか。

**【事務局】**

穂高と堀金に人権教育集会所があるが、耐震性がないことから廃止・解体を決定した。跡地は市役所内で活用要望がなければ、公売または貸付になる。

2つ目の要綱改正については、建設資材及び人件費の高騰に伴い限度額を見直していきたい。さらに、蛍光灯のLEDに移行、酷暑対策のエアコンの設置資金もこの地区公民館建設事業補助金から交付できないか検討する。早ければ令和8年4月以降に改定後の要綱を運用していきたい。

**【事務局】**

図書館での記念講演については、PRを含めて各図書館が節目の年を迎えたときにそれぞれ行う予定である。

**【事務局】**

本日スポーツ推進担当が不在のため代わりに回答する。項目が減っている原因としては、社会教育委員に提示すべき内容を整理したもので、事業の減少ではない。

**【委員】**

三郷地域事業のひまわりクラブについて、とても素晴らしいと感じた。他の地域でもこのような活動を行っているのか。また、生涯学習課ではなく他の課で実施しているのか。

**【事務局】**

ひまわりクラブは三郷村の時から実施しており、三郷地域だけでなく市内全体からひまわりクラブに参加したい方を募集している。

**【事務局】**

堀金地域でも「子育てサークル（常念っ子）」事業を令和7年度から開始する。内容についてはひまわりクラブと同様のものとなっている。

**【事務局】**

緊急指定避難場所となっている公民館が、1000年に1度の洪水では使用ができない可能性がある。建設補助金を活用できないか検討してほしい。

各公民館事業としてあづみ野祭りや穂高納涼祭を企画している。あづみ野祭りについては毎年多くの来場者が訪れているが、穂高納涼祭についてはそうではない。このため、予算を計上して来場者増加に取り組んだ方が良いのではないのか。

**【事務局】**

地区公民館建設事業補助金については、現在、新築・大規模改修・修繕が対象となっている。相談に来られた時は適切に対応したい。

**【事務局】**

あづみ野祭りについては豊科生涯学習係だけでなく地域づくり課や安曇野市商工会議所等が一体となって実行委員会を組織して進めている。

**【事務局】**

穂高納涼祭については、先日の区長会でも参加をお願いした。市からも補助金が交付されており活用している。実行委員会でも話を進めており、開催場所についても穂高会館ではなく穂高駅前が良いのではないのかといった意見が出されている。開催場所や実施方法についても検討していきたい。

**【事務局】**

堀金地域には常念フェスティバルがある。こちら公民館予算はゼロだが、ほかの地域と同様に交付金等で予算を確保している。地域の皆様に周知しながら開催をしていきたい。

**【委員】**

児童クラブの6年生の受け入れ状況について、昨年度は3クラブだったが今年度は全てのクラブで受け入れられているのかどうか。

**【事務局】**

令和7年4月から豊科東小学校で新たに6年生まで受け入れを拡大する。残りの豊科南小学校、三郷小学校については現段階では4年生までの受け入れとなっている。設備面で厳しいところがあり、教室の確保に向けて学校とも調整を行っている。

**【委員】**

三郷地域は今年、三郷東部認定こども園が移転するということでその空き地を活用できないのか。

**【事務局】**

小学生が小学校から児童クラブへ移動することを考えたときに児童クラブの近くにある小学校の方が良いため、そちらを重点的に探している状況である。

**【委員】**

青少年センター事業について、街頭巡回そのものは青少年の非行の抑止力になると思うので大切なことだと思うが、現状はどうか。現状に大きな課題がなければ、街頭巡回の数を1回減らして闇バイト等への啓発活動に充てられないか、

またあづみの新進音楽家オーディションコンサートについて、回数を重ねるごとに定着してきていて良いことだと感じている。参加者がその後の活動につながっていて大変うれしく思っている。安曇野の子供たちにとって大きな意味を持っているので継続していってほしい。

**【事務局】**

青少年センター事業について街頭啓発の実情としては、小中学生の年3回の長期休みにあわせ、各地区の育成会長からなる青少年委員とともに市内を巡回している。しかし、現在街中で小中学生の姿を見かけることが少なくなっている。今後の活動をどのようにしていきか話し合いを行っている。

市ホームページに情報を掲載することで、若い世代にも啓発を行う取り組みを始めた。闇バイトについても何らかの方法で啓発を行ってほしい。

**【委員】**

現在の市内の人権教育集会所の場所とどのような形で利用されているのか。また、人権教育の新たな場を建設する予定はあるか。

**【事務局】**

市内は（廃止となる）穂高地域と堀金地域の2か所。

部落解放同盟安曇野協議会は令和6年3月31日をもって解散、令和6年4月以降は部落解放同盟安曇野支部に変更され、今後は穂高公民館を利用し活動される。

堀金地域については、本来の人権教育集会とは別に常会、隣組といった単位で道祖神祭りや地区の祭りの活動をされていた。

**【委員】**

穂高のスキー教室については、市内全域を対象としているのであれば、地域事業ではなく全市的事業に該当するのではないか。

**【事務局】**

ご指摘の通りである。修正する。

**【委員】**

青少年体験事業について、子どもたちには様々な体験が必要であるが、どのような体験をさせるのかというのを今一度市役所内で共有してほしい。人権教育に限らず、子育て、地域づくり、体験学習でも市役所内で課題を共有し連携して取り組んでいただきたい。

**【事務局】**

青少年体験事業については、市が主催するときは様々な事業を実施することで子どもたちへのきっかけづくりの機会としている。今後も社会情勢の変化に伴い内容を変更していききたい。

**【委員】**

市が体育館の予約をする際、一日中借りているということがある。なるべく時間を区切って使用するようにしてほしい。

**【事務局】**

スポーツ担当の代わりに回答する。市が体育館・公民館等の施設を利用する際は必要最低限となるよう、担当部署に申し入れを行っている。多くの市民の皆さんに利用していただけるよう調整する。

#### 4 その他

##### 【委員】

公民館事業と学校・地域とのつながりが見えてこない。

##### 【委員】

(コミュニティースクールにおいて) 地域コーディネーターが会議・イベント等に参加すると謝礼金が発生するが、それ以外の多くの参加者はボランティアとして参加している現状がある。そういった方々にも手当を出せば責任感とともにやりがいを感じられるのではないか。わいわいランドに参加される方には手当が支給される。

##### 【事務局】

課題として担当の学校教育課の方に伝えたい。

##### 【委員】

図書館職員の対応が素晴らしかった。図書館事業についても素晴らしいものが多いのでぜひ続けていただきたい。また、子どもたちに図書館の魅力を伝えてほしい。

##### 【事務局】

学校連携として、学校と図書館の立ち位置を考え子どもたちに何ができるか考え、進めているところです。小中学生に向けて図書館についてのお便りを出し、学校からの依頼で子どもたちが制作した成果物を図書館や交流学習センターに展示している。